

Mt. Norikura unt Ö.B. Runz. Ö

俺の頭は、そもそも忘れ易くできているので、秋休みの事を
年が明けてから書こうとしても事実を正確に書く事は不可能で
あろう。もし事実に基づいて書いていった場合俺の記憶違いによ
るトラブルは、すべて俺自身か忘れ去てある事を証明してくれ
る。ではどの様に書くか？ 事実に基づかなければ書けない！と
う風になやんでいると、亦こうかますます遅れるので本題に入
ろう。

フリーランに出て何と、でも一番イヤなのが、走り始めて
直後の雨だ。輪行ととく前ならそのまま尻宿にはいるのだが、
組んでしま、た以上や、がり走らないと負けた気がする。でもま
あスタートする前から、ていあのならまだいい。雨だと思、
て走、てしまえげいい。一番くせの悪いのが、20分位走、て
や、と体があ、たま、て来た頃にふり出す雨だ。しかも急にふ
つて来る奴だ。ま、たく絨に書いた様にイヤな雨が、初日ふ
たのであ、天。

フリーランの昼メシはインスタントラーメンである。ゲータ
レボトルの貴重な水も約半分使、て作る。雨の日などは、屋根
のあるバス停が、最高の食室である。ラーメンを作、ていると
オミイさんが来て、「良くふるなあ！ど、から来たの？」決り

もんくである。「東京からです」標準語で答える。「ず、と走って来たんかえ」これも決りもんくである。内心VSDPを感じながら、にこやかに輪行をジイサンに教える。気分の良い時は、前輪のクイックをはずしてみたりして、納得させる。「こんな自転車は高いんじゃないろう。いくら位するんです？」これも決りもんくで十萬位だと言、て少し高めに答える。ジイサンは、ヒマなもんだから、ラーメンと食い終るまで、夏に京鞍ヘミニスカートにTシャツで行って死んだ人の布やら、自分が道にまよ、たか幸運にも帰って来た布を齧っている。俺の口は、ラーメンで精一杯だったけれど、「なるほど」「へー」「どうでしょうね」と適当な間かくて合づるそうつ。ジイサンは雨の中スタートするまじしゃべりまく、たか、俺はほとんどあぼえていない。

車で登る人がいる。バスで行く人がいる。さすがに歩いて行く人は見当らほか、た、歩いて行くには、この丫々は遠過ぎなしたろうなあ。丫月の人ほとんど国立大だ。たや、ぱり秋休みは国立大の特権だろう。一人たりえらい美人が居たので、ラッキーと思、たか、天気の方は一向に良くならず、三日目は、少雨の中登、た。エライキツが、た

何故かは知らんが、一緒に登、てくる奴がいる。本来エライ
リキのある奴らしいのだが、俺とチンタラ、テいた。尻っぱは、
馬みたいなサイクリストで、いやや決して部員の約一名に似て
いるのではない、とにかく走る事(地図上で移動する事と言
うのが当、ているだろう)だけが生きがいの様な奴であ、た。先
日奴が京都から(京大生)東京へ来て色々話していたら、下関
から岡山まで、一発で走、たという。最初の知らせは、18時過ぎ
で走、たとか、俺には、顔の前に人参とつけても、甘がっついて
いてもこゝろには走、れんと思う。いや絶対走、れん!!

とにかく俺とチンタラ、テ、途中で、紅茶、マラーメツた。え
らく後の走り方が臭、い入、た林で、また茶鞍に登ろうというが
俺の予ては至、て自信がない。

茶鞍山の頂上は、全く平、て淡路、マいた。おまけに、台風
の株写風がふ、いている。もし俺が、32kmからのながめだけと
たのしみに登、マいたとすれば、大学入試で一種にスベ、た時
位のスコアは脅、たうけ、ただろう、とにかく何か満足感があ
る。しかし、言葉はち、るないので考、えが、クラブの多くの
部員は日、何と書、かなくてはおか、てく、ると思う。

大佐年 招待

ジャイアント・ババ → 太いクリ, ボボ・ブラジル → おめコ
ブラジル

旅先で、土佐弁が耳に入、て来た。民宿でメシを食、てい
ると。むかしブスだ、たと思おゆる二人のオバサンが、(注:
ブスというのは30才前で、顔と心の総合標尺で偏差値40以下
を俺はブスと解している。30才を本ば、皆土佐オバサンでよ
ろしい、中にはきれいな人もいるけれど)何やらなつかしげ
な音を出している。よく聞いてみると、やっぱり高知の人
みたいだ、たので、標準語で、俺が出身を俺くと、

「KOŌji dēsŪ」

まさに土佐なまりの標準語であ、た。以後俺は、土佐弁で対戦
した。石川県のオバサンが、誰しに加わ、て、何だかんだ言
、ているうちに、石川県が、

「奥海地方へも旅行したいが、地震が恐いのでイヤだ」

と言、た。

「そんぢもトは、もうしかたがな、い。あ、せりあさらめろし
かな、い、て、し、よ、！」

と俺、

高知のオバサンニコニコして、

「高知の人ば、あまらぬがええまねえ、！」

今年の下、下、の成瀬の悪か、た理由があか、た。

とにかく、三日目は、^オ40以上の女に大元テだ、た。

O.B.ラリーで書かなきゃならん。しかしあなは、どういき目
で見ても、O.B.会ではなからうか？ とにかくO.B.の代表など
は、長津田からの帰りの株なカッユウで、清里に来わたし、
車で来る人がやたらメッタク多か、た。バイオレット、パルサ
セリオ、ローレル等、とにかく、自転車の数よりも、車の数の
方が多か、たのであ、た？

とにかく雨だ、た。ムーワーと風がなま、ズドザドド
と雨がふ、ていた。乗鞍帰りの俺の心のどこかで、あした雨は
な一あなと言うものもあ、たが、そこは、O.B.の前

「明日晴れるていいすわ！」 (ナハハ)

結局その夜は、O.B.とながよく、トランプ遊び

一夜明けてみると、あいがあらず、外はズドザドドのムワ
ワワ

「これじゃ自転車はムリだ！」

全く疑う余地もなから、た。

「じゃあ、今日走る予定のコースを、車で行、てみるすか
一致した意見であ、た。実にラリーであ、た。

もともと下エラくは車好きのクラブである。ここ数年カー
プラとか、カートップ等という雑誌はなりとひそめているが、
2年位前は、部室の机の上には、**幕**に置いてあ、た。年を追っ

て免許人口は増加の傾向にあるが、今のクラフには、以前ほど車の話題はのぼらない。「カーオプザ TITCC」などという名詞も近年忘れられている。----- 本題にもどろう。

なんとか車に乗りこみ、いざ出発。1時間も走らないうちに屋メシの声がかかり、ウロウロ、4台が並、ちへ行、たりこ、ちへ来たり。ふと、バイオレットのオモ見ると、O、Bの人が、ズドザドの雨の中を半分位あけて、=人も首を出している。それはあたかも、俺が、コウラの中から、ふいに顔を出しているかの様であ、た。そしてその顔は、奥に東工大サイクリング部であ、た。幸見の顔も、三浦の顔も小島エムの顔も、そこにはめこんでた、い様であった。

とにかく何にもせず、というほどでもないが、... O B ラリーは、終、てしまった。何にしても今年は、かたき打ちにあのユースでO B、うりるしかばいんじょないでしょうか？ ...

おわい

意味不明の文章で申しわけない。苦情は一切は、

日誌にとろうぞ、

フリーランは、80 2月号 サイボ⁽⁴⁾の22

